

平成 30 年度 北海道・東北ブロック大会

青少年国際交流を考える集い in 山形



9月1日(土)、2日(日)、山形県でブロック大会が開催されました。基調講演では、山形の「里山」で様々な人達が交流を深め、繋がる空間を創る方からのお話に感銘しました。分科会では、「キャリア教育」として、学校でいじめや不登校が起きないように教育を行うことが大切であること、お互いを温かく理解し合える場の作り方などを実践的に学びました。また、いじめや不登校を経験した子達が安全に社会と関われる空間として、会員制の「居酒屋」を作り、働きながら人との交流を育み社会復帰をしていく場を提供する方からも貴重なお話を聞くことができました。夜の懇親会では、山形の花笠を使って会場全員で踊り交流を深めました。

多くの学びと、仲間との再会や新しい出会いに、とても充実した時間を過ごすことができました。

平中 沙也香(平成 28 年度 シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ)

全国大会 @ 千葉



12月1日、2日と千葉県佐倉市で「全国大会 in 千葉」が開催されました。北海道 IYEO からは富樫顧問、平中会長、小田玲美さん、宮澤未央さん、そして波多腰の 5 人が参加しました。今回の大会は北海道 IYEO にとっていつも以上に特別なものでした。それは大会の3ヶ月前に起きた「北海道胆振東部地震」の現地報告と復興支援活動発表、支援のお願いをさせていただいたからです。懇親会会場にて募金をさせていただきましたが、本当に多くの方からご支援をいただき、全国のネットワークの繋がりとその温かさを感じました。また、復興支援活動発表では今年度予定している支援活動にくわえて、宮澤未央さんが制作された復興支援 LINE スタンプが公開されました。今年の全国大会にて、復興支援活動の様子をお伝えできれば良いですね。

波多腰 純也(平成 27 年度 シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ)

北海道国際協力フェスタ

12月15日(土)に札幌の地下歩行空間にて開催した「北海道国際協力フェスタ」に去年度につき北海道 IYEO が活動紹介ブースに出展しました。

北海道 IYEO のブースにもたくさんの方に来ていただき、目標の 60 名に内閣府国際交流事業や IYEO のパンフレット、来年の 2 月に行う国際交流事業の募集説明会の案内チラシをお渡しし、内容などをお伝えすることができました。

高校生・大学生に興味をもって色々質問をいただいたり、事業内容を聞いて孫や娘に伝えたいと来てくれた方など、たくさんの方に知っていただく機会となりました。また、道内の他の国際協力・交流団体の方々とも知り合う機会となり、北海道 IYEO の周知度を上げる機会になったと思います。

戸谷 元拓(平成 29 年度 国際青年育成交流事業・ミャンマー派遣)



Talk&Try そば打ち・ひょっとこ踊り体験

6月30日に和み亭にて、そば打ち体験をおこないました。今回は中国・韓国からの留学生、大学院生、社会人の方など9名の方が参加されました。はじめてそばを打つという経験だけでなく、普段食べないトマトの芽の天ぷら、よもぎ団子なども頂き、留学生だけではなく、日本の参加者も料理の幅広さと美味しさに驚いていました。また、食事の後には、ひょっとこ踊りも体験しました。和み亭の竹林さんからは「地域で採れる野山の物を頂いている」との話があり、日頃の食を考える機会にもなりました。

和み亭の方々、そして躍りを教えていただいた三橋さんに感謝いたします。

波多腰 純也(平成27年度 シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ)



ビアンビ！ - とっておきの風景 -



7月11日(火)の19時から北海道大学で文化人類学を研究される小田博司教授をお招きし講演をしていただきました。

テーマは「とっておき風景」であり、教授が世界を回る中で心に残った風景を、参加した17名ほどの学生・留学生らに紹介していただきました。いくつもの風景を紹介していただき、アフリカ・ザンジバルの美しい海岸やタンザニアの夜明けの写真が写されたときは、参加者から「わあっ」と驚きの声が上がったりしました。

今回のビアンビ！は「フェアトレード雑貨&レストラン みんなる」を貸し切りにして開催しました。講演後はみんなるの手作りのご飯を囲み、小田教授と参加者は自分のとっておき風景など様々なことを語り合いました。

戸谷 元拓(平成29年度 国際青年育成交流事業・ミャンマー派遣)

胆振東部地震被災地視察&復興支援金について

平成30年9月6日に北海道胆振東部地震が発生しました。北海道IYEOでは、復興支援活動を行うことに決定し、まずは被災地の状況を視察して、現地の方から、被災況や復興状況、避難所や仮設住宅についてお話を伺いました。ボランティアに来ている方からも、何が求められるか等アドバイスを頂きました。そこで学んだことは自分達ができることを継続的に行うということです。復興支援活動を行うにあたり、IYEO本部から大規模災害支援金を頂き、全国大会では活動のための資金を数多くの方に寄付していただきました。また、会員の宮澤さんが北海道にちなんだLINEスタンプを作り、その売上も活動の資金に充てられます。復興支援活動は、7月20日、21日の1泊2日で「Visit 胆振」と題して全国から参加者を募り、被災地を訪問し、現地の方と交流することで心のケアを行うイベントを開催予定です。

平中 沙也香(平成28年度 シップ・フォー・ワールド・ユース・リーダーズ)



冬の防災セミナー

胆振東部地震発生を受けて、1月12-13日に合宿型防災セミナーを実施しました。札幌市白石区にある防災センターを見学し、各種災害体験を通して正しい対象方法や冬の防災について学びました。

民泊施設では、新聞紙とブルーシートを使った寝袋作りや新聞紙で作るスリッパなど手軽に出来る防災術を実践してみました。

被災地域を応援する為、夕食はむかわ町のししゃもや安平町の餃子、厚真町のジンギスカンを用意し、翌日朝食には多種多様な非常食を食べてみました。参加者の半数が外国人だった為、9月の地震発生時の話や各国の災害に対する備えなど防災についても考えながら交流をすることができました。

本間 麻友(平成26年度 日本・韓国 青年親善交流事業)



事業紹介写真展



昨年度も3月2日から16日の期間に、札幌エルプラザ2階エレベーター前のスペースにて内閣府青年国際交流事業を紹介する写真展を開催いたしました。

各事業、派遣先での活動内容が盛りだくさんで、様々な写真を展示することができました。また、募集要項やIYEOの活動についてもコーナーを作り、紹介文の他に配布用のパンフレットも準備しました。年々、SNSを通して事業を知ったという方が増えているように感じます。写真展に来ていただいた方にも、北海道IYEOのSNSアカウントをフォローして頂けるよう工夫していこうと思います。

本間 麻友(平成26年度 日本・韓国 青年親善交流事業)